

# ふるさとを愛し、豊かな心で、自らを育てる子の育成 ～12年間の連続した学びの発展をめざして～

## 福井市殿下小学校

### 1 取組の概要

#### (1) 地域と家庭と学校の連携実績

| 項目            | 回数  |
|---------------|-----|
| 地域・学校協議会      | 3回  |
| 中学校区を単位とした協議会 | 3回  |
| 地域及び家庭への学校公開  | 11回 |

#### (2) 地域人材の活用 (のべ人数)

|                 |      |
|-----------------|------|
| 講師・ゲストティーチャー    | 22人  |
| 授業ボランティア(含：低ボラ) | 22人  |
| 登下校支援ボランティア     | 35人  |
| その他(校外活動ボランティア) | 120人 |

#### (3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」

#### 具体的活動内容

##### ①ふるさとを学びへ

本校においては、各教科で体験的な活動を通して自然文化、歴史、人などの地域素材を活用し、ふるさとを学びへとつなげている。具体的には全児童がDDランド(殿下段々畑：学校農園)において、地域の人にお手伝いをしてもらい、サツマイモなどの農作物を育てている。また、殿下地区の殿下音頭をお年寄りから習い、体育祭で踊っている。さらにそば打ち、藍染めなども全学年で体験をした。



1・2年生は生活科の授業で「人とかかわりや様々な体験を通して殿下のよさを知る」をテーマに、ささゆり館(殿下地区農産物自家販売所)、堂下製粉、渡辺牧場、小川商店などを訪れ、地域の産物を生かし、働く人たちの様子を学習した。



3年生は社会科で郵便局、消防署、商店等を訪れ、殿下の地区における各施設の役割を学習した。また、中学生との合同授業では地区内で実測し、地形図づくりに取り組んだ。

5・6年は家庭科で地区のお年寄りから地区に伝わる伝統食そばだんごの作り方を学んだ。

#### 成果と課題

体験活動を通して、郷土の自然と伝統文化について理解を深めるだけでなく、地域の人たちとかかわりの中から殿下のよさを十分知ることができた。今後は、学んだことから考えを深め、地域の未来に向けて提案するなど新たなタイプの発信ができるように、活用力に重点をおいた取組を目指したい。